

11 スマートシュリンクの視点を取り入れた人口減少対策の推進

政策提言先 総務省

政策提言の要旨

当面、避けることができない人口減少に「適応」しながら、必要な行政サービスを維持・確保し、地域を活性化させていくためには、行政サービスの再構築を通じて、持続可能な提供体制を実現することができる「スマートシュリンク（賢い縮小）」の視点が重要です。

ついては、持続可能な行政サービス提供体制の実現に向けて、分野ごとに具体的な対応指針や支援策を提示などを提言します。

【政策提言の具体的内容】

- 持続可能な行政サービス提供体制の実現に向けて、以下のとおり、分野ごとに具体的な対応指針や支援策を提示すること
- ①スケールメリットが期待できる分野・業態の洗い出し
 - ・今後の人口減少・担い手不足を見据え、市町村間の共同処理（水平補完）や、国や県による事務代行（垂直補完）などでスケールメリットによる人役や経費の削減が期待できるような分野・業務の洗い出しを行うこと
- ②ガイドラインやマニュアルの提示と必要な法整備等
 - ・市町村間の共同処理等、持続可能な行政サービス提供体制の構築の実現に向けた工程などを示す「ひな形」を指針（ガイドラインやマニュアル）として提示すると同時に、必要な法整備等を行うこと
- ③財政支援策の提示
 - ・②の「ひな型」の取り組みが進むよう、地方公共団体を後押しする国の財政支援策を提示すること
- ④モデル事業の展開
 - ・人口減少への適応策として、先進的な行政サービス改革に取り組む自治体を対象に、モデル事業を展開すること

【政策提言の理由】

- 持続可能な行政サービス提供体制の実現に向けて、スケールメリットを確保する手法としては、「市町村合併」に限らず、行政分野ごとの市町村間の水平補完や、県の事務代行という垂直補完も考えられる。
- 手法としては、広域連合や事務委託など、多様な選択肢が用意されているところだが、分野や規模に応じた最適な手法の選択と、関係自治体間の意見集約が課題。

【高知県担当課】総合企画部 政策企画課